

1 人権思想の歴史

- (1) 人権思想の元となる「人間の尊重」という考え方は、14世紀ごろヨーロッパで起きた(**ルネサンス**)に始まる。
- (2) 16～18世紀には、(**絶対主義**)という政治体制の下、国王が大きな力を持ち、人々の自由や平等を制限していた。
- (3) 17～18世紀になると、理性を重んじ、個人の自由や平等を求める、(**啓蒙思想**)と呼ばれる思想が広まった。
- (4) 啓蒙思想に影響を受けた人々は、自由や平等を求めて(**市民革命**)を起こし、いくつかの国で国王による政治が倒された。
- (5) 人々が市民革命で国王から勝ち取った、個人の自由や平等などの権利は(**人権**)と呼ばれ、現代に受け継がれている。

2 啓蒙思想の展開

- (6) 啓蒙思想の中で、国家が、人々への約束に基づいて成立するという考え方を(**社会契約説**)と言う。
- (7) イギリスの思想家・(**ロック**)は、社会契約説を根拠に、人々の自由を守らない政府は倒しても良いと主張した。
- (8) フランスの思想家・(**ルソー**)は、社会契約説を根拠に、国の政治は国民全体の意思によって決めるべきだと主張した。
- (9) フランスの思想家・(**モンテスキュー**)は、国の権力を抑えるために、権力を分けてバランスを取るべきだと主張した。
- (10) モンテスキューによる「権力を抑えるために、権力を分けてバランスを取る」という考えは、(**三権分立**)と呼ばれる。

<ワンポイント解説>

- ... このように、人間の尊重を重んじた考え方を、「ヒューマニズム」と呼ぶ。
- ... 絶対主義では、国王の権力は神から授けられたので、何にも制限されないと考えられた。
- ... 啓蒙思想は、特にフランスで発達した。
- ... 代表的な市民革命には、イギリスの「清教徒革命」や「名誉革命」、フランスの「フランス大革命」がある。
- ... 憲法は、国の権力を制限し、市民革命を通じて勝ち取った人権を、将来にわたって守るために生まれた。
- ... 実際には、国家が人々の約束に基づいて成立したわけではないが、そのように考えることで、人々の権利を主張する根拠になった。
- ... ロックは、人々には、自由を守るために政府を倒す「抵抗権」という権利があると考えた。
- ... ルソーは、国の政治が国民全体の意思に基づくことを、「人民主権」と呼んだ。
- ... モンテスキューは、権力を、法律を作る「立法権」、法律を執行する「行政権」、法律を守らせる「司法権」に分けて考えた。
- ... モンテスキューは、三権分立の考え方を『法の精神』という本の中で主張した。



【アプリ版のご紹介】中学社会 地理・歴史・公民

中学社会(地理・歴史・公民)の重要基本事項を完全収録。中学の定期テストや高校入試の勉強に、また、高校生やセンター試験対策の基礎固めにオススメのアプリです。



【オマケの一題】

中学社会 地理・歴史・公民

1997年に結ばれた、温室効果ガスの削減目標を定めた条約は？

- (A) ジュネーブ条約 (B) 京都議定書 (C) 原子力協定 (D) 南極条約